

第 25 回 (JSB2018)

日本バイメカニクス学会大会

開催趣意書

会 期 : 2018 年 9 月 4 日 (火) - 6 日 (木)
会 場 : 日本体育大学世田谷キャンパス
組織委員長 : 船渡 和男 (日本体育大学)
実行委員長 : 柏木 悠 (日本体育大学)
事務局 長 : 平野 智也 (日本体育大学)

大会事務局: 日本体育大学 スポーツバイオメカニクス研究室
第 25 回日本バイオメカニクス学会大会事務局
〒158-8508 東京都世田谷区深沢 7-1-1
電話 : 03-5706-1184 (担当 : 平野)
e-mail : jsb2018@nittai.ac.jp

第 25 回 日本バイオメカニクス学会大会組織委員長挨拶

「温故知新のバイオメカニクスを考える」

日本体育大学

船渡和男

第 25 回日本バイオメカニクス学会を、日本体育大学東京世田谷キャンパスにて、2018 年 9 月 4 日～6 日の 3 日間、開催する運びとなりました。本学での同学会の開催は、1986 年の第 8 回大会以来 32 年ぶりとなります。当時の大会テーマは「動きのコツを探る」であり、大会事務局長を務められた故石井喜八先生は大会趣意を以下のように綴っておられます。

「(中略) 老人、障害者の人々の動き、舞台での極限状態に身体を使った美しい動き、消防の特別救助などプロスポーツ以外の職業での動きなど (船渡概略)、我々が取り組んでいる領域は、隣接諸科学の多くと、広い応用場面を有している (中略) スポーツの世界では感覚用語が極めて多く使われている。我々は感覚用語を手掛かりにして、その動作・運動に接近し、logical な level に押し上げなければならない。この作業こそが「コツを探る」作業であり、この実現によってのみ、隣接諸科学と会話が可能となり、われわれの成果が広く応用されるも考える。我々は Sports という感性の多い分野に、いつまでも止まっていたはならないと思う。」(石井喜八、序にかえて、第 8 回日本バイオメカニクス学会大会論集、1987) 感性を logical な level に押し上げる=今風に言えば“evidence based~”ということになるだろうか。表現こそ変われ本質的に先人の研究者たちがわが日本バイオメカニクス学会に求めてきた価値観はぶれることがないことを感じる。さらに日本バイオメカニクス学会の沿革をたどると、今から遡ること 61 年、1957 年の久留米での体育学会の部門別懇談会 (20 人余り) で、お互いに連絡を取り合って研究していけばキネシオロジーの素晴らしい発展が期待できる (故猪飼道夫先生) との意見があり、12 月にキネシオロジー研究会通信「ひろば」が発刊されて、その後毎月一回程度のプリント (ガリ版) を作って通信が始まっている。その 7 年後の 1964 年東京オリンピック大会終了翌日の 10 月 25 日から 29 日にかけて、オリンピックに参加した世界のスポーツ医学者と体育指導者に呼びかけて International Congress of Sport Sciences が開催されています (加藤橘夫編、Proc. International Congress of SORT SCIENCES, 1964, 1966)。

東京オリンピックを契機にスポーツ科学に関する興味が高まったようであるが、1970 年代に入ると世界各国で今の日本研究に刺激を与えたスポーツ科学やバイオメカニクスに関する著名なテキストブックが出版された。私の知る限りでは以下の著書があげられる。北欧の著名なスポーツ医・科学者 Astrand, P-O. & Rodahl, K. による “Textbook of Work Physiology” (1970 年)、アメリカ、アイオワ大学 Hay, J. G. による “The Biomechanics of Sports Techniques” (1973 年)、ミラノ大学 Margaria, R. による “Biomechanics and Energetics of Muscular Exercise” (1976 年)、カナダウオータールー大学 Winter, D. A.

による“Biomechanics of Human Movement”（1979年）。大学院へ進学してスポーツ科学を志そうと触発されたのはこれらの世界的なスポーツ科学に関する著書との出会いがあったことが大きいと感じている。我々の大学院時代はこれらの著書に心をときめかせていたと同時に、世界との格差を痛感させられたことを覚えている。

それ以降日本のスポーツバイオメカニクス研究は急速に進歩発展し、今日では世界の学会を凌駕するレベルまで達した。また2017年には、長年にわたって本学会にご尽力され教育と研究をリードされてきた宮下充正先生（東京大学名誉教授）と福永哲夫先生（元鹿屋体育大学長）がそれぞれ「瑞宝中授賞」の叙勲の栄に浴したことは我々学会員の誇りでもある。

さて本年で開学127周年となる日本体育大学は、多くに日本の大学が縮小傾向にある中で、松波健四郎理事長のリーダーシップのもと、昔の体育学部一つから、5学部と3大学院研究科からなる体育・スポーツの総合大学を目指して、拡大路線へと発展してきている。本学は「科学とヒューマニズムに裏打ちされた『研究』と『人間教育』」という理念を高く掲げ、開かれた大学として、また一歩前へ踏み出そうとしています。（日本体育大学HPから）動きの仕組みを科学するバイオメカニクスは、体育・スポーツ・健康科学の主幹分野の一つとして、これからどのような道標をたてて、社会貢献を果たしていこうとするのか、やはり61年前に皆で議論して進めれば素晴らしいことができる、と考えたところに本学会テーマがある。

日本のバイオメカニクス研究の発展により多くの参加者を魅了する刺激的な大会となるよう、皆様のご支援とご理解をよろしくお願い申し上げます。

平成30年3月

第25回日本バイオメカニクス学会大会
組織委員長：船渡 和男（日本体育大学）
実行委員長：柏木 悠（日本体育大学）
事務局長：平野 智也（日本体育大学）

学会大会開催要領

1. 名 称 : 第 25 回日本バイオメカニクス学会大会
2. 組織委員長 : 船渡 和男 (日本体育大学)
実行委員長 : 柏木 悠 (日本体育大学)
事務局長 : 平野 智也 (日本体育大学)
3. 会 期 : 2018 年 9 月 4 日 (火) - 6 日 (木)
4. テ ー マ : 「温故知新のバイオメカニクス」
5. 会 場 : 日本体育大学 東京・世田谷キャンパス
〒158-8508 東京都世田谷区深沢 7-1-1 教育棟
6. 主 催 : 日本バイオメカニクス学会
7. 参 加 者 : 450 人 (見込み)

8. 概 要

日本バイオメカニクス学会は、人間の身体運動に関する科学的研究ならびにその連絡共同を促進し、バイオメカニクスの発展をはかることを目的としています(学会 HP より)。本大会は、日本バイオメカニクス学会の前進にあたるキネシオロジー研究会通信「ひろば」が発刊されて 61 年目になります。現在本学会は、世界を凌駕するほどに発展して参りました。これも、各関係企業様の長きに渡るご協力とご尽力があったからこそにあります。本大会では、「温故知新のバイオメカニクス」のテーマのもと今一度、人間の身体活動に関する研究の原点について我々研究者と関連する企業様と共に「故きを(大切に)温めて新しきを知る」を相互に理解し、新たなステージへ意見交換できる大会にしたいと存じます。バイオメカニクス研究領域に多大なる貢献をされております御社の力強いご支援を、本大会の成功に向けて賜りますようお願い申し上げます。

JSB 2018 第 25 回日本バイオメカニクス学会

大会組織委員会

学会大会長	深代千之（東京大学）
組織委員会委員長	船渡和男（日本体育大学）
顧問・参与	阿江通良（日本体育大学） 平野裕一（法政大学）
実行委員長	柏木 悠（日本体育大学）
事務局長	平野智也（日本体育大学）

実行委員	秋山 圭（日本体育大学）
	山岸道央（日本体育大学）
	渡邊航平（中京大学）
	袴田智子（国立スポーツ科学センター）
	稲葉優希（国立スポーツ科学センター）
	松林武生（国立スポーツ科学センター）
	吉岡伸輔（東京大学）
	熊川大介（国土舘大学）
	田中重陽（国土舘大学）
	和田匡史（国土舘大学）
	手島貴範（日本女子体育大学）
	新海宏成（東京学芸大学）
	赤木亮太（芝浦工業大学）
	江間諒一（芝浦工業大学）
	勝亦陽一（東京農業大学）
	阿江数通（筑波大学）
	藤田善也（早稲田大学）
	神事 努（國學院大學）
	稲見崇孝（慶應義塾大学）
	橋詰 賢（産業技術総合研究所）

共催セミナー（ワークショップセッション）

開催・募集のご案内

1. 概要

動作分析機器（モーションキャプチャー、カメラ、動作解析システムなど）の使用例の紹介、計測の実践および研究紹介を含めたワークショップセッションの開催

開催日程：2018年9月4（火）夕方1～2時間程度

※開催時刻は、大会プログラム確定後に決定します。

※詳細については後日要相談させていただきますが、早々の手続きが必要な場合にはご連絡ください。

2. 募集内容

募集件数 2件

収容人数 30人 共催費 200,000円

3. 内容

共催費に含まれる経費

① 会場費 約20m×20mの動作計測範囲（世田谷キャンパスB階中央測定）

※900mm×600mmのフォースプレート埋設可能

スライドプレゼンテーションスペース 20～30名程度予定

または、200名収容の教室

② 電源 100V

③ 机、椅子

④ 参加者への飲料代

○共催費に含まれないもの（オプション）

① 学会用意以外の映像機材

② 演者への謝金

③ 装飾・記録（録音・VTR）にかかわる費用

④ 設営・撤去費等

4. お申し込み方法

2018年5月11日までにメールにて参加希望をお伝えください。

申し込み送付先

第25回日本バイオメカクス学会大会事務局

担当 平野 e-mail: jsb2018@nittai.ac.jp

※ご質問等ございましたらご遠慮なく事務局へご連絡ください。

※共催セミナー開催企業は無料にてバナーを大会ホームページに掲載致します。

本資料後部にある要領にて大会事務局までお送りください。

機器展示会

開催・募集のご案内

1. 概要

展示会場：日本体育大学東京・世田谷キャンパス 教育研究棟 2階 2202, 3201 教室（予定）

展示日程：2018年9月4日（土） - 6日（木）

2. 出展枠

（1）小間数：20小間（予定）

（2）出展料：1ブース（基礎小間1小間）70,000円

3. 展示基礎小間図（予定）

基礎小間1小間 幅1.8m×高さ1.8m×奥行0.9m

バックパネル 幅1.8m×高さ1.8m

展示机 幅1.8m×高さ0.725m×奥行0.45m

4. 小間の配置

各社小間（スペース）の割当は出展皆様のご要望、お申込み小間数、お申込み順などを勘案して申込締め切り後に決定させていただきます。出展皆様がスペースの全部または一部の第三者への譲渡・貸与もしくは出展皆様同士での交換を希望される場合は、必ず事前に学会事務局にご連絡ください。

5. 会場使用

基本設備以外の設備につきましては、出展皆様のご負担にてオプションでご用意いたします。大きな出典物をお持ち込みされる場合は、事前に学会事務局までお問い合わせください。展示場のエレベーターの積載耐荷量は1,350kg、入口は横90cm高さ210cmです。

6. 補償

展示に関する盗難、損傷等の防止に主催者は努めます。しかしながら、不可抗力等による損害に対して、主催者及び、施設関係者は補償等の責任を負えませんのでご了承ください。

7. お申し込み方法

2018年5月11日までにメールにて参加希望をお伝えください。

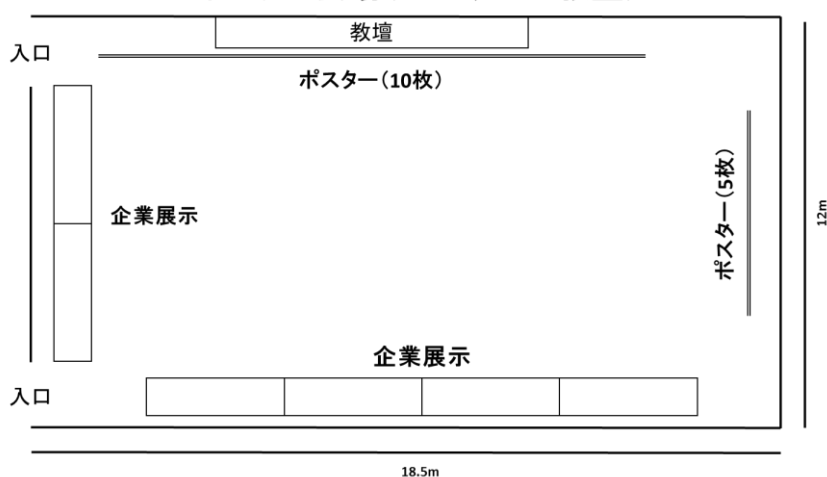
申し込み送付先

第25回日本バイオメカクス学会大会事務局

担当 平野 e-mail: jsb2018@nittai.ac.jp

※展示会参加企業は無料にてパナーを大会ホームページに掲載致します。本資料後部にある要領にて大会事務局までお送りください。

ポスター会場(2202、3202教室)



予稿集、広告募集のご案内

1. 媒体

第 25 回日本バイオメカニクス学会大会プログラム予稿集

2. 掲載要領

(1) 大きさおよび部数 A4、約 50 頁、300 部（予定）

(2) 広告掲載料

掲載枠	スペース	募集数	掲載料	原稿の向き
A	裏表紙の外側 1 頁（カラー）	1	70,000 円	縦
B	表紙の内側 1 頁（カラー）	1	60,000 円	縦
C	裏表紙の内側 1 頁（カラー）	1	50,000 円	縦
D	プログラム<後付・1 頁>（モノクロ）		40,000 円	縦
E	プログラム<後付・1/2 頁>（モノクロ）		25,000 円	横

※いずれも受付順にて申し受けます。

※掲載枠 D, E は五十音順の後、アルファベット順にて掲載します。

※予稿集掲載企業は無料にてバナーを大会ホームページに掲載致します。

本資料後部にある要領にて大会事務局までお送りください。

(3) 広告原稿

印刷に関しては納品データのまま印刷を行います。そのため、Adobe Illustrator などを用いて作製されることを推奨いたします。

*予稿集掲載 A から D 枠は 1 頁(W)190×(H)275mm、D 枠(1/2 頁)は(W)190×(H)125mm になります。

3. お申し込み方法

2018 年 5 月 11 日までにメールにて、掲載希望を下記送付先までご連絡ください。

また、広告原稿はメールにて完成データを **2018 年 6 月 15 日**までに下記送付先までご納品ください。

申し込み送付先:

第 25 回日本バイオメカニクス学会大会事務局

担当 平野 e-mail : jsb2018@nittai.ac.jp

ホームページ・バナー広告掲載のご案内

1. 概要

共催セミナー機器展示および広告にお申込みいただきますと、本大会ホームページのトップページに貴社広告バナーを掲載致します。貴社ホームページのリンクなど各種インフォメーションをご提供ください。

2. 広告仕様

- 1) データ形式 : GIF 形式か JPEG 形式
- 2) サイズ : 縦 70 ピクセル (px) × 横 185 ピクセル (px) (予定)
- 3) 容量 : 50 キロバイト前後

3. 送付方法

バナーデータは以下の情報のメモと共に送ってください。

- 1) フォーマットの種類
 - 2) 貴社名およびご担当者名
 - 3) 保存データファイルおよび形式
 - 4) リンク先 URL アドレス
 - 5) その他留意事項
- * データのみ返品はございません。

4. 申し込み送付先 :

日本体育大学 スポーツバイオメカニクス研究室
第 25 回日本バイオメカニクス学会大会事務局
〒158-8508 東京都世田谷区深沢 7-1-1
担当 : 平野 e-mail : jsb2018@nittai.ac.jp